取扱説明書

電子音式防鳥器

天敵ニラミ
トリサッタ2
型式　TTS-DSC4

使用上の注意
各部の名称　…1

操作パネル
チャンネル　…2

設置
保守管理　…3

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
この説明書には、タイガー電子音式防鳥器
「トリサッタ2」の使い方がまとめられています。
内容をご理解したうえで、正しくご使用ください。
尚、本仕様および外観は製品改良のため予告なく
変更する場合がありますのでご了承ください。

＊鳥獣害防止の得意技あります――。

タイガー株式会社
（ホームページ：http://www.tiger-mfg.co.jp）

本社
〒565-0822
大阪府吹田市山田市場１０番１号
TEL:（06）6878-5421
FAX:（06）6875-5677
メール:info@tiger-mfg.co.jp

東京支店
〒262-0023
千葉市花見川区検見川町5-2348-3-A
TEL:（043）298-4888
FAX:（043）298-4889
メール:animal@tiger-mfg.co.jp

九州支店
〒862-0969
熊本市南区良町２丁目８番12号
TEL:（096）378-0852
FAX:（096）378-0906
メール:kyuusyuu@tiger-mfg.co.jp

Made in Japan

TTSDSC4141021M08

使用上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに表示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し説明しています。

危険　警告　注意

「してはいけないこと」を示しています。

「しなければいけないこと」を示しています。

危険　誤った取扱いをすると、死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- 雷が発生しているときは、本器周辺には近づかないでください。
  感電の原因になります。

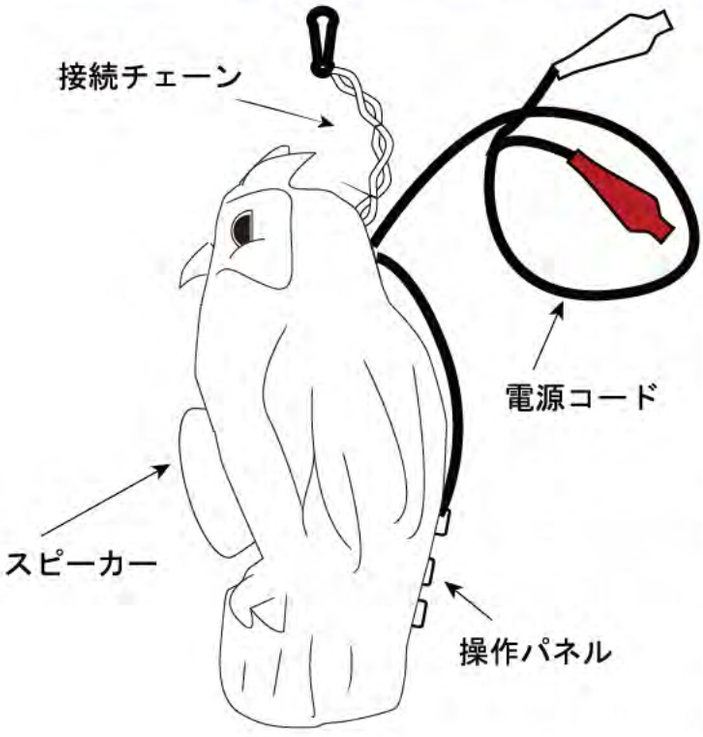
警告　誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 制御部の改造・修理・加工を行わないでください。
  発火・感電の原因になります。
- 制御部の隙間に細い棒や針金を入れたり、指などを入れないでください。
  感電・故障の原因になります。
- バッテリーの取扱いには各バッテリーの取扱説明書をよく読み、それに従ってご使用ください。
- 電源コードは地面に直接接することがないようにしてください。
- 設置後は本器の下に立ち入らないでください。
  万が一本器が落下したときに怪我を負う可能性があります
- スピーカーに耳を近づけないでください。
  何らかの理由で急に音を発したときに鼓膜を傷つける恐れがあります。

注意　誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

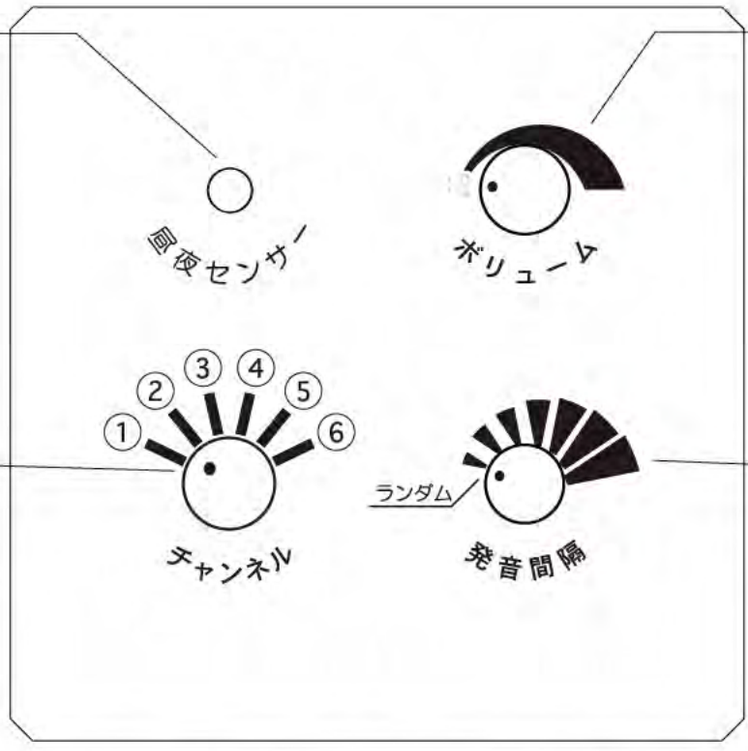
- 人家の近くや公道の近くで使用しないでください。
  また、スピーカーを民家に向けないでください。

各部の名称 と　仕様



名　　称	天敵ニラミ「トリサッタ２」
型　　式	TTS-DSC4
電　　源	DC12V （ﾊﾞｯﾃﾘｰは付属していません） バッテリー容量 40Ａｈで約４週間使用可能
防 除 方 法	鳥の嫌がる音をスピーカーから出力
作動サイクル	夜間は自動停止 （センサー付） 通常運転では約 30秒～約 30分毎 （ランダム運転時は約20秒 ～約10分の間で不規則）に 放鳴
出力音量	MAX　95ｄB （スピーカー正面 10m地点）
外形寸法	高さ 40× 幅 20× 奥行 20（ｃｍ）
重　　量	1.5ｋｇ
生 産 国	日　本

操作パネル



①昼夜センサー
明るさを感知して昼夜を判定します。昼間にセンサーを覆ったり、夜間に光が当たると誤作動しますのでご注意ください。

②ボリューム
音量を調節します。一番左まで回して「カチッ」っとするところまで回しますと電源が切れます。

③チャンネル
音を変えるときに使用します。6つのチャンネルから選ぶことができます。音の種類については下の詳細説明をご確認ください。

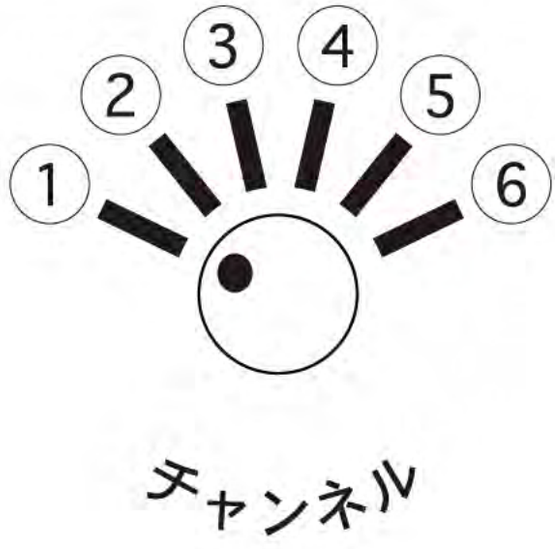
④発音間隔
発音間隔を約30秒～約30分で可変できます。一番左まで回して「カチッ」っとするところまで回しますとランダム発音に切り替わります。

本商品はセンサーにより昼間のみの作動仕様となっております

チャンネル

各チャンネルと音声は以下の設定になります。

① カラス 1＋2
② カラス 1
③ カラス 2
④ スズメ
⑤ ムクドリ
⑥ スイープ音



設置

① 吊り下げる

本器を設置する場所を決めて吊り下げてください。
ご注意 本器は防雨構造になっていますが、できるだけ風雨を避けて設置してください。

② バッテリーに接続する

1） １２Vバッテリーをご準備ください。
（容量４０AH以上を推奨いたします。）

2） 本体から出ている電源コードの赤のクリップ線は「＋」に黒のクリップは「－」に
それぞれのバッテリー端子に接続してください。

③ 運転する

1） チャンネルツマミを回して声の種類を設定してください。

2） 発音間隔ツマミを回して発音の間隔を設定してください。
発音間隔は約30秒～約30分の間隔で設定できます。
一番左に回してカチッとするところはランダム運転（慣れ防止運転）
設定です。約20秒～約10分の間でランダム運転になります。

3） ボリュームツマミを右に回すと電源が入ります。
引き続き右に回すと音量が大きくなります。
電源を切る時は左回しにカチッとするところまで
回してください。

保守管理

① バッテリーの充電

スピーカーからの音声が小さくなったり放鳥音不安定になりましたら、バッテリーを本器から外して速やかに充電してください。
また、そうならなくとも１ヶ月に１回の充電をおすすめします。（電気容量が消耗し過ぎる前に充電することでバッテリーの寿命が伸びます。）

② 保管

本器を長期間使用しない場合は、本体からバッテリーを取り外して屋内で保管してください。